

伊藤千史は戯画作家。「戯画」といってもそれは大画面のものから手のひらにおさまる小品まで。また絵だけではなく、立体あり場全体の演出ありと、とても一言ではくくれません。テーマも臨機応変。たとえば、古風なフンドシ姿の豪傑や優男。あるいは街の本屋の書棚や平台に、本や雑誌のパロディ「作品」を陳列したりなど…。一貫しているのは、日常とナンセンスをないまぜにしてゆく遊び心、そして墨画風の力強い筆さばきです。春のヒロバに、大胆さとゆるさを併せもつ、伊藤千史の「五百裸漢」が集結します。



《墨と筆》2017 Botanica



《ぼくながえもん》2023 長屋門 ふじのみや・まちなかアートギャラリー

伊藤千史 Ito Chifumi

1965年生まれ。富士宮市出身・在住。女子美術短期大学造形科グラフィックデザイン教室卒業。イラストの仕事ができそうなグラフィックデザイナーの職につくも原因不明の体調不良により肩身の狭い思いをしつつ人生の大切な活動期を逃す。体調も徐々に回復してきて母の介護も手を離れた頃、地元で個展を開催したところ展示のお話を途切れることなくいただき、遂にはありがたき大きな賞をいただき今に至る。

【個展】

- 2018.9 「五百裸漢!」(富士芸術村)
- 2022.3 ねこおち出版記念「しほりだし」(HIBARI BOOKS&coffee)
- 2023.5 「触角」-超えて行け- (DHARMA沼津)
- 2023.9 「漁師のおっさん」(Botanica)
- その他個展多数

【グループ展】

- 2014.11 佐藤家 FUJINOWAグループ(富士の山ビエンナーレ)
- 2022.2 岡本太郎現代芸術賞展(川崎市岡本太郎美術館)
- その他グループ展多数

【受賞歴】

- 2018.10 「第10回記念展 紙のアートフェスティバル」入選(富士芸術村)
- 2018.11 「第9回1000の小箱展」入選(感覚ミュージアム)
- 2021.3 市場町アートフェス オーディエンス賞(DHARMA沼津)
- 2022.2 第25回岡本太郎現代芸術賞展 特別賞(川崎市岡本太郎美術館)

【WORKS】

- 2019.9 ぐちきき地蔵さんイラスト おかえりの森 星空デザイン
- 2019.9 義元遠たり 鈴木英治 著 装画 静岡新聞社
- 2022.3 書籍「ねこおち」 子鹿社



《五百裸漢!》2018 富士芸術村



《左:webのひと 右:超えてゆけ》2023 DHARMA沼津



《書店レジ前の平台》2020 港書店 焼津アートライン

